

## 長年のボランティア、赤十字社が感謝状

# 献血や紅花摘み これが荒砥高生

白鷹

白鷹町の荒砥高（地主佳子校長、77人）が青少年赤十字に加盟して60年ほど。県内の高校では数少ない学校として加盟し、全校生徒が継続的なボランティア活動を展開している。長年の同校の取り組みをたたえ、先月26日には日本赤十字社から感謝状が贈られた。

日本赤十字社県支部によると、県内の高校は24校が名を連ねるが、その多くは有志による部活動や愛好会などでの登録。学校としては同校のほか、東海大山形高と酒田西高だけという。

荒砥高ではこれまで、町

## 地域と一体感、生徒に自信

内の高齢者宅での除雪のほか、紅花摘みなどさまざまな



長年の取り組みをたたえ、荒砥高に感謝状が贈られた  
＝白鷹町・同校

なボランティア活動を展開してきた。学校挙げての活動に、同校は「地域との一体感が生まれ、生徒の自信にもつながっている」と感じている。

献血活動にも熱心で、若い世代の協力者を増やそうと、生徒保健委員会が県赤十字血液センター（山形市）と共同で啓発動画の制作に取り組んだことも。この日

先立つて行われた伝達式では、生徒を代表して保健委員長（17）が感謝状を受け取り「表彰は歴代の先輩たちの積み重ねがあつてこそ。地域貢献につながる活動が今後も続いてほしい」と話した。（須藤しづか）



献血に協力する荒砥高生